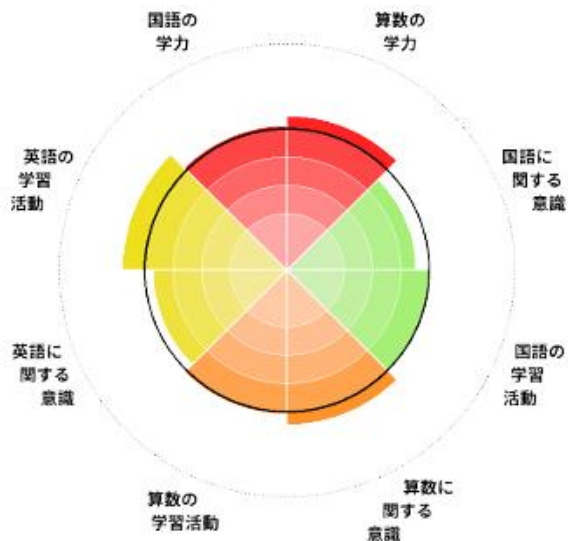


令和8年度 全国学力・学習状況調査結果報告

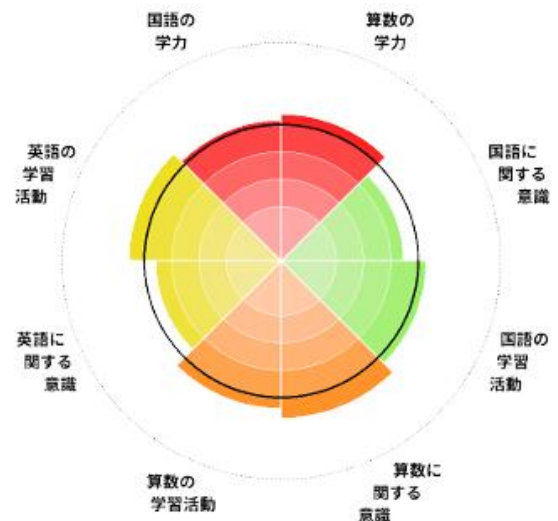
先日、文部科学省から、全国学力・学習状況調査の全国平均、神奈川平均が発表されました。

すみれが丘小学校の6年生は、国語・算数ともに全国平均・神奈川県平均を上回っていました。
調査結果についてお知らせします。

児童質問紙(全国基準)



児童質問紙(神奈川県基準)



学習面で主に良かった点

【国語】

- 「書くこと」、「読むこと」についての力がついています。
- 説明文について叙述を基に内容を捉える力が身に付いています。

【算数】

- 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を比較し、選ぶことができます。
- 直方体や立方体の体積の計算による求め方について、理解する力が身についています。
- 単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることができます。

学習面で主にこれから伸ばしたい点

【国語】

- △「話すこと・聞くこと」に課題がありました。
- ⇒相手の話を理解したり、自分の意見を伝えたりすることができるように、日常的に話す活動の機会を増やし、取り組んでいきます。

【算数】

- △単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商からどちらの方が混んでいるのか(混みぐあい)を考える力に課題があります。
- △二次元の表から、条件に合う数を読み取るができるかどうかをみることに課題があります。
- ⇒数量や割合を比べ、根拠をもとに説明する活動を積み重ねていきます。また、与えられた情報をきちんと読み取ることを重点的に行います。

生活意識調査より

- 学級の友達との話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると考えている児童が多いです。
- めあてや目標を立てることへの意識を高めることができるよう、活動や節目節目ごとに振り返りとめあてをもつことができるようにしていきます。
- 規範意識を高めたり、困ったことがあるときに、相談できる選択肢を広げるべく、ルールの確認を繰り返し行ったり、SOS の出し方プログラムをカリキュラムに取り入れたりしていきます。